

おだか

第34号

2016

平成28年3月8日(火)

南相馬市

小高小学校

学校だより

17字のふれあい



2月に「17字のふれあい」作品集が刊行されました。14年目を迎え、今年もさまざまな力作がそろいました。小高小学校の子どもたちの作品も、「避難先で教育

活動を行っている学校の作品」として7点が選ばれました。

特別授業として正木ゆう子先生から、俳句を作る楽しさを教わっている子どもたちです。夏をしめくくる宿題でどんな発想が浮かんだのでしょうか。

作品の季節は夏です。今年の夏を思い返し、楽しんでいただければ幸いです。

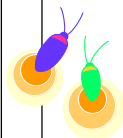
家族増え 自然に笑みも あふれ出る
はなちゃんの しっぽのふりで 順位づけ

六年 板垣 さん
母

たんじょうび こころをこめて 作ったよ
感動で いつもとちがう 味になる

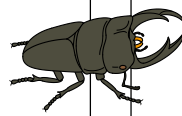
五年 鈴木 さん
母

真夏夜 川に黄色の 光あり
やみの中 ほたる追いかけて 弾む声



五年 小松 さん
母

しょうぎして 兄といっしょの 夏休み
将棋指し 思いで作る 妹と



四年 亀田 さん
兄

クワガタは ふたつのくわで かおんだよ
のぞきこむ うしろ姿が たくましい

三年 今井 さん
母



きもだめし みんなでいても こわいよね
こどもより 本気でおどかす 大人たち

二年 清信 さん
母

あかあおの あさがおいっぱい うれしいな
きれいだね まいにちみずやり がんばった

一年 馬上 さん
母

3.11をむかえて

11日(金)で東日本大震災より5年目を迎え、各地でさまざまな追悼行事が予定されています。本校の子どもたちは、仮設校舎でこの日を迎えることになりました。まだ、避難中であり、復興も道半ばではありますが、子どもたちがこれまでのがんばりを振り返り、明日からのエネルギーに変える日としたいと考えています。

また、この間に全国から様々なご支援をいただいたこと、仮設体育館を含め教育環境が整えられてきたことなど、様々なご好意により現在に至っていることも忘れてはならないことです。感謝の気持ちも持って、この日をすごしたいと思えます。

小高区の教育施設再開まではまだ多くの課題がありますが、私たちも保護者の皆様と同じ強い気持ちで、一歩前に進んでいきたいと考えています。子どもたちのため、今後ともよろしく願いいたします。



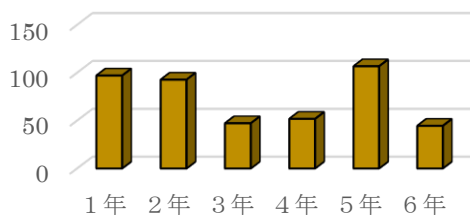
年間読書冊数

小高小の子どもたちが1年間に読んだ本の冊数をまとめてみました。3月1日現在の集計となりますが、総冊数で、4,859冊となりました。学年ごとの比較は、右のグラフになります。

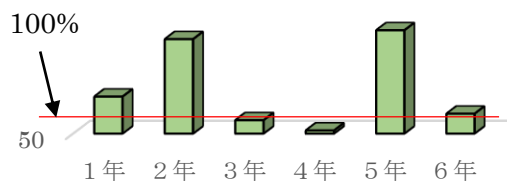
昨年度を100%として比較すると、2年生と5年生が特に伸びています。小高小の図書室を利用したデータなので、これ以外の場所(市立図書館など)を利用している子どももおりますが、がんばりの一端はうかがえると思います。

「本は心の栄養です」と常々話しており、次年度も引き続き本好きな子どもの育成に力を尽くしたいと思います。ご家庭でも「親子で同じ本を読む」「読み聞かせをする」などの本に親しむ活動をご工夫いただければ幸いです。

一人あたりの読書冊数



昨年度との比較



「報告します、みんなの生活」発表会



調べたダンスを発表する4年生

2日(水)は昼休みを利用して4年生が発表会を行いました。生活科や社会で学習した内容を発表している他の学年も大勢集まって、4年生が調べた「音楽や映画、アニメ、ダンス」「ぼくたちとスポーツ」「好きなゲーム」「私たちとアニマル」といった報告に熱心に耳を傾けていました。